**第５１回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年３月２４日（水）１８時００分～ |
| 開催場所 | 市民会館　小会議室 |
| 出席者 | （部会長）　　神谷博達（副部会長）　安宅錦也（部会員）　　仲川弘誓、合田美津子、佐藤文子、大坂倫一、　　　　　　　磯田大治（読書活動家）松山哲男、高木三千子、須藤和恵、武者正樹（庁内委員）　重山大介（事務局）　　大越智輝、佐々木健 |
| 欠席者 | （庁内委員）　近藤正嗣 |
| 議題 | 本を読むことを広めるための取組みについて |
| 配布資料 | 第５１回育み部会参考資料（部会長作成） |

※読書活動家の４名の方々にもご参加いただき、育み部会ができる活動について協議した。

○育み部会の考え（前回の部会から）

・読書活動家の皆さんの活動を支援したい。

・読書活動家の皆さんから専門的な見地からのアドバイスをいただきながら活動し

た方が良いのではないか。

○会議の要点

・育み部会として、やれることから少しずつ始めることがよいのではないか。

・育み部会には良い機会をつくってもらった。本の取組みについて、事業主体をはっ

きりさせなければならない。市内で読書活動をしているのは我々だけではなく、鷲

別方面でも活動されている方々がいる。そのような読書活動に関心のある方に、育

み部会が中心となって集まっていただき、意見を聞くことも必要ではないか。

・学校で読み聞かせを行っている保護者の方もいるので、そのような方に学校経由で

呼び掛けをしてもいいのではないか。

・ただ集まって意見を聞きたいと依頼しても、なかなか集まらないと思う。集まって

いただくには具体性が必要ではないか。

・例えば、基調講演を目玉事業に研修と交流を兼ねて集まってもらい、交流の場を設

けることはどうか。

・基調講演は聴きたいという人もいると思うので、絵本作家にお願いしてもいいかも

しれない。

・著名な方でなくても、参考となる話をしていただける方でも良いのではないか。

・人を呼んで集めるには、部会としての目的を整理する必要があるのではないか。

・結論を出さない会議を積み重ねていっても良いのではないか。

・少ない集まりの中でも、何かできるようにしなければならない。他とのつながりが

ない中で活動している団体や個人はいる。その人たちをつなげていくことも必要で

はないか。

・図書館とまちづくりの間をどうつなげていくかが一番大事なことだと思う。地味で

はあるが、できる範囲で何かを始めるのがいいのではないか。

・無理のない形で開催すべきではないか。例えば市立図書館の事業に相乗りさせても

らうなど。

・各団体の活動目的は、スポーツで言うと違う競技をやっているくらいの違いがある。

　しかし、それぞれに共通する部分はあると思うので、まずは今いるメンバーでやれ

ることから始めて、少しずつ色々なことをやっていけばいいと思う。

・絵本でも色々な切り口がある。それぞれの団体の活動の多様性をまとめるのが育み

部会であると思う。

・これまで読書活動についてこのように話ができる場がなかった。ぜひ、育み部会で

話し合いを継続していってほしい。

○次回について

　　日時：令和３年４月２６日（月）を候補に開催を調整

　　内容：・本に読むことを広めるための取組みについて

　　　　　・読書活動家の方々にも参加していただき、育み部会できる取り組みを協議する。

・令和３年度の育み部会の取組みについても協議する。